



平成27年5月14日

各位

会社名 木村化工機株式会社
代表者名 代表取締役社長 小林 康眞
(コード番号6378 東証 第1部)
問合せ先 常務取締役管理部門長 谷本 周平
(TEL. 06-6488-2501)

業績予想値と実績値との差異及び剰余金の配当に関するお知らせ

平成26年11月14日に公表しました平成27年3月期通期業績予想と、本日公表の実績値において差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

また、本日開催の取締役会において、平成27年3月31日を基準日とする剰余金の配当を行うことを決議いたしましたので、併せてお知らせいたします。

記

1. 業績予想値と実績値との差異

(金額の単位：百万円)

(1) 平成27年3月期 通期連結業績予想値との差異(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	17,300	638	650	360	17.49
今回発表実績(B)	19,036	1,088	1,113	599	29.21
増減額(B-A)	1,736	450	463	239	—
増減率(%)	10.0	70.6	71.2	66.4	—
(ご参考) 前期実績 (平成26年3月期)	15,531	596	605	301	14.65

(2) 平成27年3月期 通期個別業績予想値との差異(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	17,300	566	600	340	16.52
今回発表実績(B)	19,036	990	1,036	559	27.26
増減額(B-A)	1,736	424	436	219	—
増減率(%)	10.0	75.1	72.7	64.4	—
(ご参考) 前期実績 (平成26年3月期)	15,513	513	545	275	13.41

(3) 差異の理由

連結及び個別ともに、売上高は進行基準案件の進捗が進んだこと、また営業利益、経常利益及び当期純利益は、化学機械装置関連事業については、徹底したコスト管理と販管費の削減等を行ったこと、また原子力を含むエネルギー・環境関連機器事業については、売上増により、前回予想値を大きく上回りました。

2. 剰余金の配当について

(1) 配当の内容

	決定額	直近の配当予想 (平成 26 年 5 月 14 日)	前期実績
基準日	平成 27 年 3 月 31 日	同左	平成 26 年 3 月 31 日
1 株当たり配当金	7 円 00 銭	5 円 00 銭	7 円 00 銭 (普通配当 5 円 00 銭) (記念配当 2 円 00 銭)
配当金の総額	138 百万円	—	144 百万円
効力発生日	平成 27 年 6 月 11 日	—	平成 26 年 6 月 12 日
配当原資	利益剰余金	—	利益剰余金

(2) 理由

当社は、株主の皆様への利益還元を経営の最重要課題の一つと位置づけたうえで、財務体質の強化と積極的な事業展開に必要な内部留保の充実を勘案し、企業業績に応じた配当政策を実施することを基本方針としております。

上記方針に基づき、当事業年度の期末配当につきましては、業績が好調であったことから、前回予想の 5 円から 2 円増額して、7 円とさせていただくこととしました。

今後も、中長期的な視点に立って、成長が見込まれる事業に経営資源を投資することにより、持続的な成長および企業価値の向上ならびに株主価値の増大に努めてまいります。

以上